

# 活動計画概要 普及啓発部会

平成24年12月4日

指標  
・講演会 参加者数  
・がん知識理解度アンケート  
・講演会満足度調査

全体目標

がんにより死亡する人の減少  
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

がんになって暮らせる社会の保証

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】あるべき姿： 県民全員ががんの予防、検診、治療に関する一般知識をもち、がんになった時に適切な判断、行動することを目指す。

中期目標(2年) 平成26年度までにメディア、教育機関、各自治体、企業を通じて、一般市民ががんについての正しい情報を得られるような環境整備が整っている

最終目標(5年後)：一般市民ががんに関する基本的な知識を持ち、がんになったときに適切な判断、行動することができる

指標  
(中期目標と同じ)

測定方法

5

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標1】 県民が定期的ながん情報を得ることができる

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標2】 離島圏を含む小中高大学生を対象としたがん啓発セミナー(離島県を各めテレレ島4社：12回/年新潟2社：12回/年ラジオ島4社：18回/年)

【アウトカム目標3】 学校教育へがんに関する教育の導入、校内での自主的ながん講演会の開催(教員向け、PTA向け)での定期開催

【アウトカム目標4】 各市町村主催の一般市民向け講座の開催によりがん検診率が向上する

【アウトカム目標5】 職場検診受診率の向上

【施策1】  
①マスコミを対象としたメディアセミナーを開催する  
②一般市民に正しいがん情報を発信する

【施策2】  
小中高大学生にがん啓発セミナーを実施する  
①マスコミを対象としたメディアセミナーを開催する  
②一般市民に正しいがん情報を発信する

【施策3】  
小中高の学校PTA300名/年が講演会に参加し、アンケート調査(標準治療等の基本的な言葉を知っているかの調査)を行う(1年間で小中高の学校4校にて講演)

【施策4】  
指導主事向けのヘルスセミナーを実施する

【施策5】  
がんについて副読本を作成し、協議会のHPに掲載する  
また、児童・生徒に対する授業を行う

【施策6】  
離島において、基本的ながん知識、予防・検診を周知する講演会を開催する

【施策7】  
がんの予防・検診、治療等、県民全体へのがん啓発番組を企画する

【施策8】  
一般向け講演会を開催する

【施策9】  
専門的な病院種毎の担当医を公開する

【施策10】  
職場でのがん検診に対する理解・普及啓発

ステップ 4

施策アクションプラン

【策案項目1】 県内メディアへ通じての正しいがん情報の提供

【策案項目2】 県教育委員会、学校教育機関、またはPTAを媒体としたがん啓発活動

【策案項目3】 一般市民に対しての正しい情報の提供を行なう

【策案項目4】 職場の理解・企業での検診の義務化強化

ワークシート1で導き出された対策項目